

第7章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

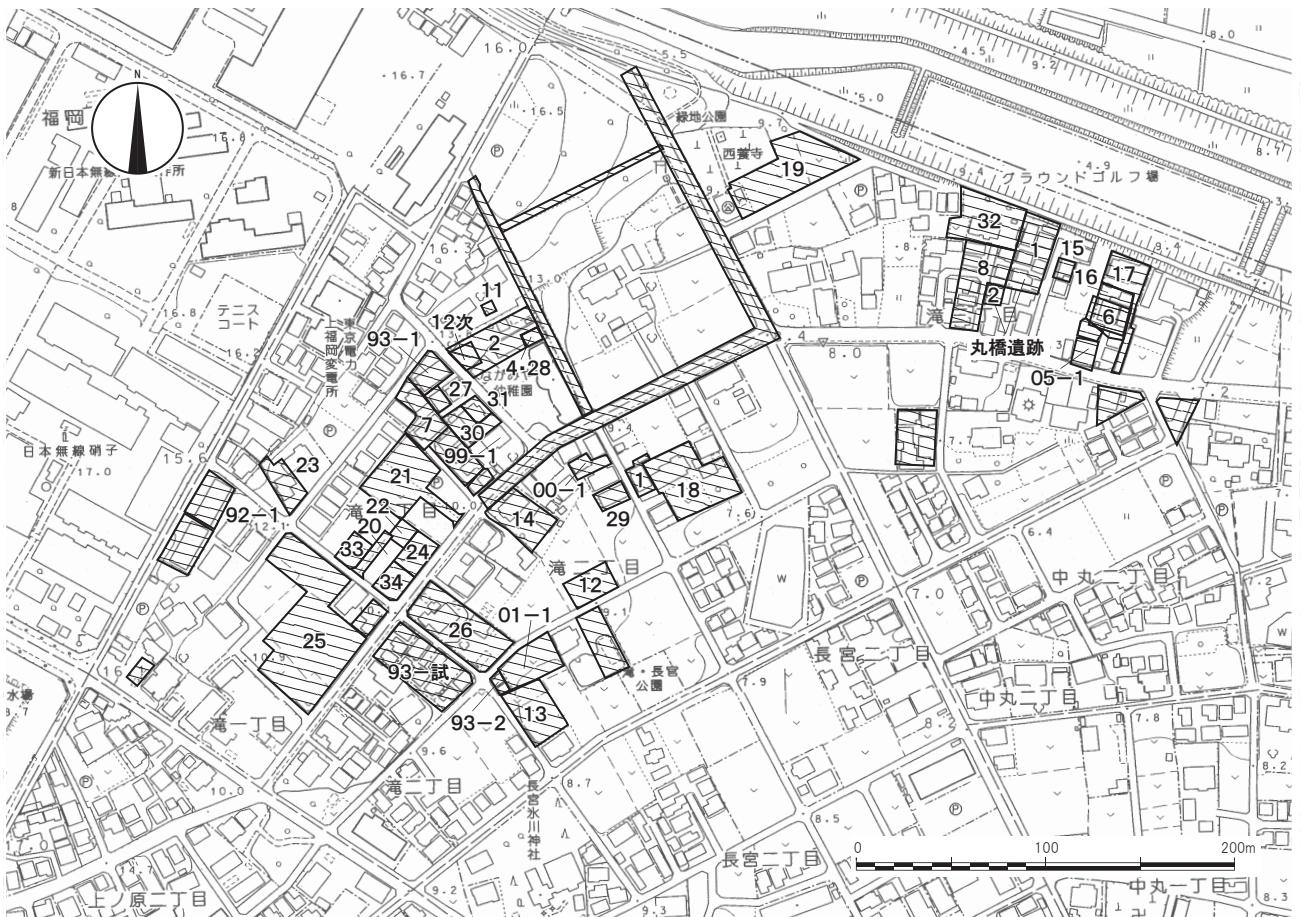
滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12 m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250 m、東西500 m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡（1981年の変更増補で滝遺跡と合併）で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以来2019年4月現在、46ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査（1）は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構（集石を伴う）である。



第32図 滝遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第25表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
丸橋1次	滝3-3-77～81	(1976.6.26～27) 1976.7.24～8.12	543	建売住宅	古墳前期住居跡1・後期住居跡1	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合	上遺調
丸橋2次	滝3-3-13	1978.7.26～8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑1、現代溝1		上埋Ⅰ
1次	滝2-6-11	1978.10.2～13	129	住宅建設	住居跡1、土師器		上埋Ⅰ
2次	滝1-4-2	1979.4.15～5.7	278	幼稚園プール	住居跡5、溝溝、土坑、長甕、土器		上埋Ⅱ
3次	滝1-4-15	1980.6.27～7.3	76	住宅建設	権現山遺跡1地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅲ
4次	滝1-4-15	1980.7.7～12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片		上埋Ⅲ
5次	滝1-3-21	1980.7.20～31	330	住宅建設	権現山遺跡2地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅲ
6次	滝3-3-6	1980.11.20～12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡2、縄文早期土器、石器、奈良土器他		上埋Ⅲ
7次	滝1-1-19	1981.7.30～31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋Ⅳ
8次	滝3-3-15 他	1983.11.14～26	990	住宅建設	古墳住居跡2		上埋Ⅵ
83試							上埋Ⅵ
9次	滝1-4-4	1984.5.11～22	466	住宅建設	権現山遺跡5地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅶ
10次	滝1-3-17	1984.6.1～12	363	住宅建設	権現山遺跡6地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅶ
11次	滝1-4-2	1984.6.28～30	33.12	物置建設	権現山遺跡7地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋Ⅶ
12次	滝1-4-2	1984.12.22～24	94	住宅建設	遺構遺物なし		上埋Ⅶ
92試(1)	滝1-2-14の一部	(1992.7.6～8)	400	倉庫建設	遺構遺物なし		上埋15
93試(1)	滝1-1-4	(1993.4.23～28)	313.08	共同住宅	遺構遺物なし		上埋16
93試(2)	滝2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	遺構遺物なし		上埋16
95試(1)	滝1-3-13	(1995.11.27～30)	462	共同住宅	権現山遺跡14地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋18
99試(1)	滝1-1-6	(1999.10.21～26)	511.09	宅地造成 (土地分譲)	遺構遺物なし		上埋22
00試(1)	滝2-5-20	(2001.1.23～24)	154.7	個人住宅	遺構遺物なし		上埋23
01試(1)	滝2-2-8	(2001.4.17～20)	519.64	共同住宅	奈良初頭住居跡1		上埋24
02試(1)	滝1-3-49	(2002.5.29～30)	165	個人住宅	権現山遺跡16地点に変更。欠番とする	権現山遺跡へ変更	上埋25
05試(1)	滝3-3-5・143	(2005.6.24～27)	350	個人住宅	遺構遺物なし		市内1
立会	滝1-4-1・26・27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	遺構遺物なし		
12	滝2-5-3・4の一部	2007.2.6	472	個人住宅	遺構遺物なし		市内3
13	滝2-2-6	2007.10.24～11.1	737.7	共同住宅	焼土範囲2、ピット8		市内4
14	滝2-5-11・17	(2007.11.8～19) 2007.11.20～12.6	692	分譲住宅	住居跡7、溝3、井戸1、須恵器、土師器		市内4
15	滝3-3-84	(2009.9.2～14) 2009.10.23～11.6	100	分譲住宅	8世紀住居跡1、井戸1、土坑8、ピット20、須恵器、土師器、紡錘車		市内7
16	滝3-145	(2009.12.2～14)	434	宅地造成	ピット3		市内8
17	滝3-3-6・144	(2010.5.6～6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡5、井戸1、土坑4、溝2、集石		市内10
18	滝2-6-4・6	(2011.6.6～13) 2011.6.14～7.14	1,164	個人住宅	古墳時代住居跡2他、土師器、近世陶磁器等		市内14
19	滝3-4-2	(2011.10.17～24)	1,277.16	分譲住宅	溝2、陶磁器等		市内14
20	滝1-8・9	(2012.5.9～11)	124.45	道路築造	奈良・平安時代住居跡1、時期不明井戸、土坑、ピット		市内12
21	滝1-1-7・26・31	(2012.5.11～21) 2012.7.17～8.25	1,176.25	共同住宅	奈良平安時代鍛冶炉付住居跡1(H31)・奈良平安時代住居跡2(H32・H33)、掘立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、須恵器、土師器、鍛冶関連遺物他		市内12
22	滝1-1-40	(2013.7.30)	114	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
23	滝1-3-5の一部	(2014.2.12)	371	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
24	滝1-1-8の一部	(2014.7.16～18)	222.8	分譲住宅	奈良平安時代と見られる土坑2、ピット2		市内20
25	滝1-2-4・32	(2014.7.17～8.26) 2014.9.8～10.31	2,804	宅地造成	古代住居跡8(H34～H41)、掘立柱建物跡1、井戸4、土坑3、溝2、ピット23、須恵器、土器		市内16
26	滝2-5-6・8	(2015.10.19～27) 2015.11.9～10	1,231	個人住宅	縄文時代落とし穴1、古代住居跡2(H42・H43)、時代不明井戸5、土坑7、ピット44、溝2、縄文土器、石器、土師器、須恵器		市内22
	滝2-5-39・40・41・42	(2016.8.24～9.9)		分譲住宅			
27	滝1-1-25	(2015.11.27～12.1)	155	個人住宅	古代住居跡1(H44)、ピット3、土師器、砥石		市内22
28	滝1-4-1・26・27	(2016.9.3～6)	2,492.15	幼稚園園舎建設	古代住居跡1(H45)、ピット、土師器、支脚		市内24
29	滝2-5-46	(2016.11.10)	150.41	個人住宅	溝2、縄文土器、土師器		市内24
30	滝1-1-3の一部	(2017.2.13～15)	303	分譲住宅	遺構なし、縄文土器		市内24
31	滝1-1-3の一部	(2017.2.13～15)	109	個人住宅	遺構遺物なし		市内24
32	滝3-3-14	(2017.6.26～29)	784.54	分譲住宅	井戸1、ピット10(近世以降か)、縄文土器、近世陶磁器、泥面子		市内24
33	滝1-1-9の一部	(2018.12.14)	187	個人住宅	掘立柱建物跡、ピット、土師器片		未報告
34	滝1-1-8	(2019.2.20～21) 2019.4.12	333	個人住宅兼診療所	遺構なし、須恵器片、土師器片		未報告



第33図 滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第26表 滝遺跡古代住居跡一覧表（単位 cm）

新 住居 番号	旧 調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模 ()は残存 又は推定値	炉	設置 壁・炉 位置	周溝	主軸 方向	時 期	備 考	所収報告書
1	1978	第1次1号住居	5/6	隅丸方形	640×(580)×40	炉	中央 西寄り	○	S-55-W	4世紀前半	4本主柱穴、 方形貯蔵穴 110×95×40	上埋Ⅰ
2	1979	第2次2号住居	ほぼ完掘	正方形	(460)×470×45	K	北	○	N-32-W	7世紀前半	焼失住居、 方形貯蔵穴 62×55×45	上埋Ⅱ
3	1978	丸橋第1次3号住居	2/3	正方形	(510×470)×15	K	北東	○	N-38-W	7世紀前半	焼失住居、 (4本主柱穴)	上遺調
6		第2次3号住居	完掘	方形	(480×460)×15	—	—	○		9世紀前半		上埋Ⅱ
4	1979	第2次4号住居	ほぼ完掘	長方形	南北340×東西380 ～415×30	K	北	○	N-14-W	8世紀前半		上埋Ⅱ
5	1979	第2次5号住居	3/8	(正方形)	(490)×610×60	—	—	○	不明	8世紀前半	竈は調査区外未調査	上埋Ⅱ
—	1980	第3次5号住居	1/5	不明	(260×270)×30	—	—	○	不明	4世紀前半	権現山遺跡1号住 居跡に変更	上埋Ⅲ
7	1980	第6次7号住居	1/3	正方形	620×(250)×12	K2基	A竈：北 B竈：西	○	N-52-E N-37-W	7世紀前半	建て替わり、不整 形貯蔵穴 175×95×20 床面焼土範囲有	上埋Ⅲ
8	2001	2001年度範囲確認 調査第15号住居跡	完掘	方形	400×400×	K	北	○	不明	(8世紀前半)	今後15号住居跡 から8号住居跡に 名称変更	上埋24
9	1983	第8次9号住居	2/3	隅丸方形	(500)×470×20	炉3	中央北 西寄り	○	—	4世紀前半	焼失住居、 床面硬化 範囲2ヶ所	上埋Ⅵ
10	1983	第8次10号住居	完掘	正方形	690×660×15	K	北東	○	N-52-E N-37-W	6世紀前半	4本主柱穴 方形貯蔵穴 (80)×75×35	上埋Ⅵ
11	1984	第10次11号住居	完掘	隅丸方形	445×(380)×35	K	北	○	N-5-W	6世紀前半	権現山遺跡に変更	上埋Ⅶ
12	1978	丸橋第1次 12号住居	ほぼ完掘	隅丸長方形	980×770×20	土器 囲炉	北部	○	N-54-W N-36-E	4世紀前半	床面焼土点在	市史資1
13	2007	第14次13号住居	1/2	方形	370×370×45	K	東	○	N-36-E		貼床	市内4
14	2007	第14次14号住居	4/5	(長方形)	385×(380)× 202	K	北	○	真北	8世紀前半	比企型坏多数出 土、貼床	市内4
15	2007	第14次15号住居	1/3	不明	(370×—)×20	—	—	—	—		竈未検出、 貼床	市内4
16	2007	第14次16号住居	1/4	不明	(250×170)×40	—	—	○	—		竈未検出、 貼床	市内4
17	2007	第14次17号住居	1/3	不明	(344×360)×102	—	—	○	—		竈未検出、 貼床	市内4
18	2008	第14次18号住居	1/5	不明	(297×270)×30	—	—	○	—		竈未検出、 貼床	市内4
19	2008	第14次19号住居	1/5	不明	(450×—)×350	K	北	—		8世紀前半～	14号住居より新	市内4
20	2009	第15地点H20号住居	2/3	隅丸長方形	370×350×398					8世紀		市内7
21	2009	第16地点H21号住居	一部	不明	285×(135)×—	K	東					市内8
22	2009	第16地点H22号住居	一部	不明	—							市内8
23	2010	第17地点H23号住居	プラン	長方形	595×700×27	K	北		N-46-W	8世紀	H24、H25住居 より新	市内10
24	2010	第17地点H24号住居	プラン	(方形)	590×(265)×30					8世紀	H23、H26住居 より古、H25住 居より新	市内10
25	2010	第17地点H25号住居	プラン	長方形	810×700×12				N-46-W	7世紀	H23、H24住居 より古	市内10
26	2010	第17地点H26号住居	プラン	(方形)	450×(110)×40					8世紀	H24住居より新	市内10
27	2010	第17地点H27号住居	プラン	方形	420×400×10					8世紀		市内10
28	2011	第18地点H28号住居	完掘	隅丸方形	660×630×18.2	炉			N-34-W	4世紀後半		市内14

新 住居 番号	旧 調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模 ()は残存 又は推定値	炉	設置 壁・炉 位置	周溝	主軸 方向	時 期	備 考	所収報告書
29	2011	第 18 地点 H29 号住居	1/2	(隅丸長方形)	290 × 648 × 18.2					4 世紀後半		市内 14
30	2012	第 20 地点 H30 号住居	4/5	方形	410 × 390 × 5	K	東	○	N-75-E	9 世紀		市内 12
31	2012	第 21 地点 H31A 号住居	完掘	方形	780 × 770 × 50	K	北・東	○	N-92-E	8 世紀前半		市内 12
31	2012	第 21 地点 H31B 号住居	完掘	方形	640 × 640 × 50	K	北	○	N-2-E	8 世紀前半	鍛冶炉	市内 12
32	2012	第 21 地点 H32 号住居	一部	(方形)	— × — × 25						保存のため未調査	市内 12
33	2012	第 21 地点 H33 号住居	一部	(方形)	—		北		N-0-E		保存のため未調査	市内 12
34	2014	第 25 地点 H34 号住居		(方形か 長方形)	420 以上	K	東	○		7 世紀中頃	全容は不明	市内 16
35	2014	第 25 地点 H35 号住居	完掘	長方形	360 × 220 × 48.6	K 2 基	北 東	○		8 世紀中～後半	別住居の重複か建替	市内 16
36	2014	第 25 地点 H36 号住居		(正方形か 長方形)	415 × 535 × 105	K	東	○ 2		8 世紀前半～ 中頃		市内 16
37	2014	第 25 地点 H37 号住居		正方形	460 × 460 × 66	K	北	○		7 世紀後半	井戸 1 と重複、住居のほうが古	市内 16
38	2014	第 25 地点 H38 号住居									未調査	市内 16
39	2014	第 25 地点 H39 号住居									未調査	市内 16
40	2014	第 25 地点 H40 号住居									未調査	市内 16
41	2014	第 25 地点 H41 号住居									未調査	市内 16
42	2015	第 26 地点 H42 号住居	1/2 以下	(正方形か 長方形)	(250 × 192) × 20	K	北	○?		7 世紀後半		市内 22
43	2016	第 26 地点 H43 号住居	完掘	方形	345 × 303 × 20	K	北	○		8 世紀中頃～ 後半		市内 22
44	2016	第 27 地点 H44 号住居	完掘	不明	305 × (250)			○		7 世紀後半～		市内 22
45	2016	第 28 地点 H45 号住居	—	不明	—	K				8 世紀		市内 24

IV 滝遺跡第29地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2016年11月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2016年11月10日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50～80cmである。調査の結果、溝2条を検出したが保護層確保が可能なため、本調査は実施していない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

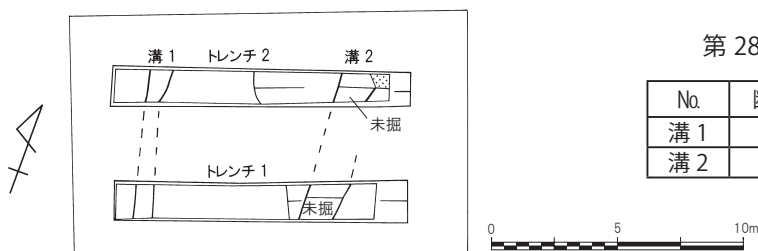
(2) 遺構と遺物

① 溝

溝跡はどちらも南北方向に走行する。溝1は調査区西側で、溝2は調査区東側で確認した。断面形態はどちらも逆台形を呈する。規模の詳細については第28表に掲載した。溝1の方が溝2に比べて規模が小さい。どちらも覆土中より遺物が出土しているが、遺構の時期を決定するようなものは確認できなかった。

② 出土遺物

出土遺物は溝1より1点、溝2より2点が出土、その他は遺構外から出土した。詳細については第37図及び第29表参照。



第28表 滝遺跡第29地点溝一覧表(単位cm)

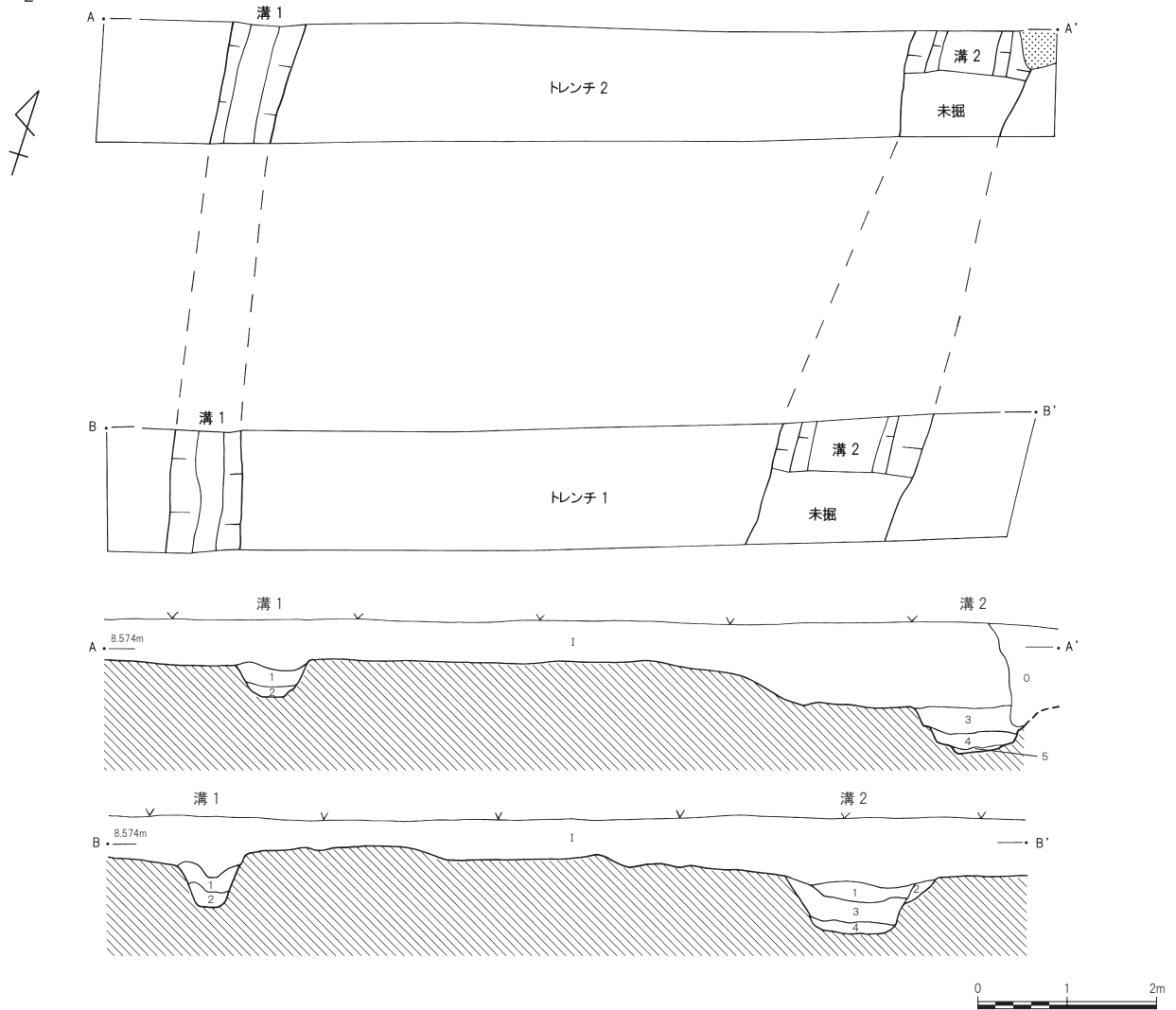
No.	断面形態	上幅	下幅	深さ
溝1	U字	63～80	23～35	51.5
溝2	逆台形	111～161	60～77	61.8

第36図 滝遺跡第29地点遺構配置図(1/300)

第29表 滝遺跡第29地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・施文・備考	時期・型式
第37図-1	溝1	石器/敲き石	10.58	9.48	6.14	802.55	砂岩・全面に使用痕あり、特に下部に顕著、部分的に鉄分付着	
第37図-2	溝2	縄文/深鉢	—	—	—	—	無文	—
第37図-3		縄文/深鉢	—	—	—	—	条痕文力	—
第37図-4	遺構外	土師器/甕	—	—	—	—	外面ケズリ、内面ナデ	古代
第37図-5		土師器/甕	—	—	—	—	外面ハケ目、内面ナデ・外面に僅かに朱が付着か	古墳時代前期
第37図-6		縄文/深鉢	—	—	—	—	地文RL・弧状に集合沈線、上下に区画の横位沈線	縄文時代中期
第37図-7		須恵器/甕	—	—	—	—	内外面ナデ、外面に自然釉・白色針状物質含む、南比企産	古代
第37図-8		石器/錐	3.53	2.19	0.73	2.86	黒曜石	旧石器?

溝1・2



I. 表土

0. 攪乱

溝1

1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む

2. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く、ロームブロック少し含む

溝2

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し、2～3mm炭化物粒多く含む

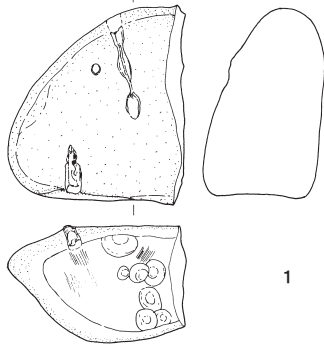
2. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く含む

3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む、部分的に酸化する

4. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・15mm以下ロームブロック多く含む、全体的に酸化、若干粘質土

5. 黒褐色土 締り強、粘性有、15mm以下ロームブロック多く含む

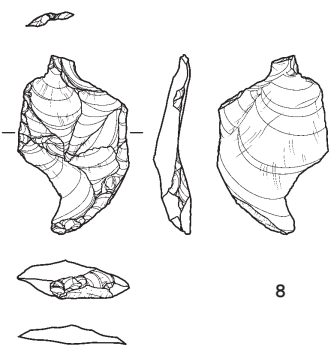
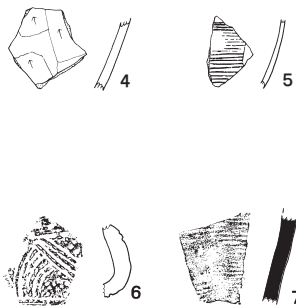
溝1



溝2



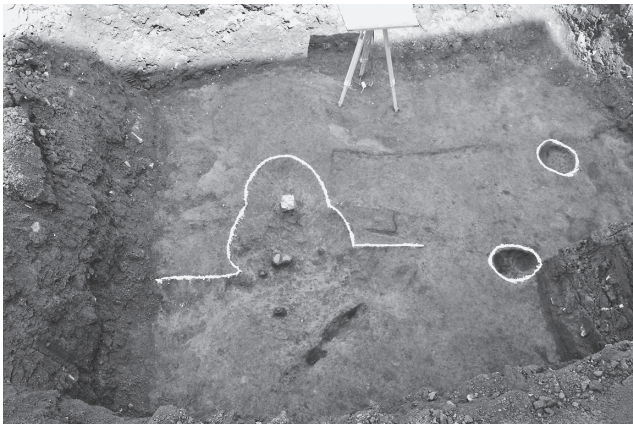
遺構外



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

0 1 2 3cm

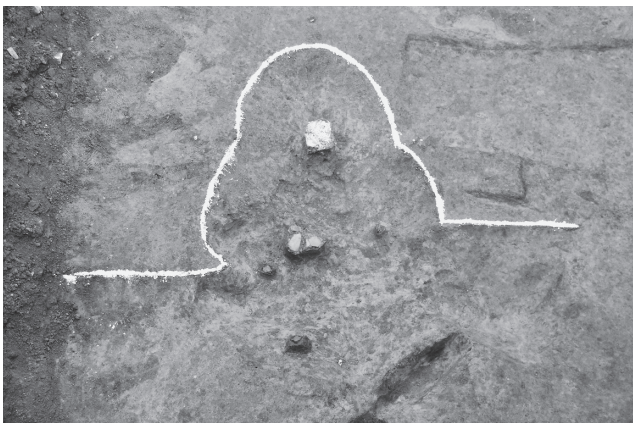
第37図 滝遺跡第29地点溝(1/80)、出土遺物(1/4・2/3)



滝遺跡第 28 地点調査全景



滝遺跡第 28 地点 H45 号住居跡竈完掘



滝遺跡第 28 地点 H45 号住居跡竈遺物出土状況

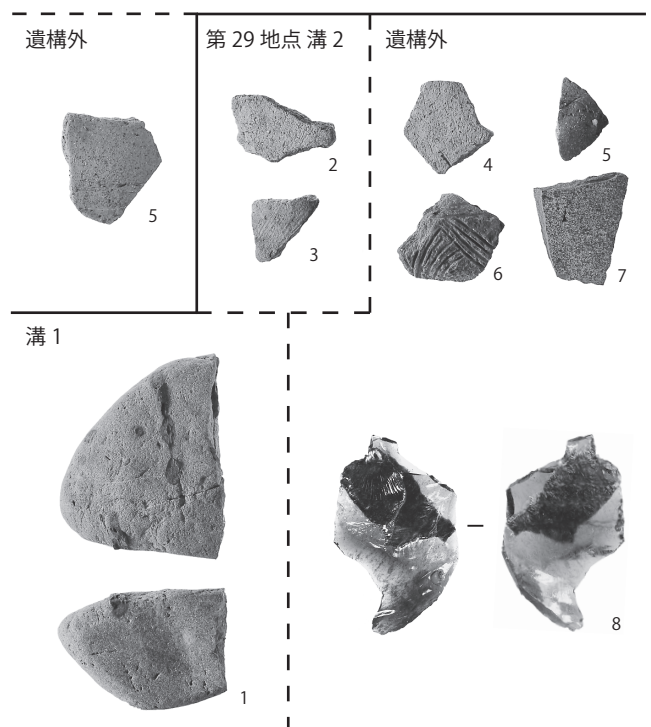


モモ核 (滝遺跡第 28 地点 H45 号住居竈部分)

第 28 地点 H45 号住居跡



滝遺跡第 28 地点出土支脚



滝遺跡第 29 地点トレンチ 2

滝遺跡第 28・29 地点出土遺物



滝遺跡第 29 地点溝 1

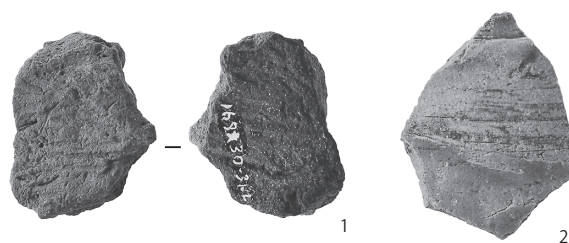


滝遺跡第 29 地点溝 2



滝遺跡第 30 地点トレンチ 3 確認面

遺構外



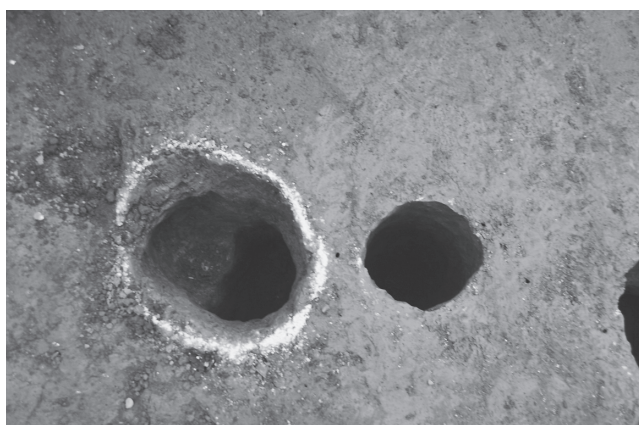
滝遺跡第 30 地点出土遺物



滝遺跡第 31 地点トレンチ 5



滝遺跡第 32 地点ピット 1



滝遺跡第 32 地点ピット 5・6



滝遺跡第 32 地点ピット 7